



校長だより



# 日中丸



第17号  
H29. 9. 29

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

## 小中合同「読み聞かせ」の会 9.21(木)・22(金)

9月21日(木)・22日(金)に、図書委員が小学校へ出かけて読み聞かせを行いました。朝の会の前の時間に、小学校の各教室で行いました。事前に練習を行い、当日は堂々とすることができました。終了後には、小学生から感想を聞かせてもらったりお礼の言葉をもらったりして、うれしそうでした。小学生も中学生もすてきな時間を過ごすことができました。



## 1年生福祉実践教室 9.27(水)

9月27日(水)に、「福祉体験を通して、障がいの種類や障がい者の暮らしについての理解を深め、福祉の心の育成を図る」ことを目的に、福祉実践教室を開催しました。障害のある方と一緒に給食を食べたり、実際の生活の様子を聞いたり、手話や点字のやり方について教えていただいたりしました。終了後には、講師の方から、「真剣に取り組んでくれてうれしかった」と、お褒めの言葉をいただきました。今回学んだことを、これからの生活の中で生かしていってほしいと思います。



## 朝会より 9.25(月)

### 生徒発表 (9月のテーマ: 2学期を迎えて)

#### 鈴木大成さん (2年)

僕には、2学期を迎えてがんばろうと思うことが2つあります。

1つ目は、勉強です。1学期はテスト勉強にしっかりと取り組むことができず、よい成績を残すことができませんでした。しかし、受験のときに自分の進路選択の幅が広がるよう、今からしっかり取り組んで行きたいと思います。

2つ目は、部活動です。2年生が中心となって1年生を引っばっていかないといけないからです。試合の勝ち負けだけでなく、大きな声を出したりやチームとしての身の回りの整とんをしたりするなどして、応援されるチームになっていきたいからです。

2学期は、行事も多いので、今話した2つのことだけでなく、すべての行事をがんばっていききたいです。

#### 田中絵梨先生の話

#### こんな話をしてくれました。

島民体育祭も近いので、「大縄跳び」の話をしてします。

私が通っていた中学校でもクラス対抗の「大縄跳び」がありました。私は背が低かったので、並び順が一番前で、回す人の目の前ということが多かったです。回す人の近くになるほど、縄が地面に着かず浮いてしまうので足を高く上げて跳ばないといけなかったのですが、がんばって跳んでいました。しかし、どうしても引っかかってしまうこともありました。そんなとき、「ちゃんと跳んで。」などと言われることがあり、それがどうしても嫌でした。

皆さんは、そんなとき、どうしていますか。引っかかってしまった人を責めるようなことは行ってないと思います。縄が浮くので高く跳ばないといけなかったり、縄がたるむのでタイミングをずらして跳ばないといけなかったりと、跳ぶ場所によって苦勞することがあります。跳ばなかったことを責めるのではなく、温かい声をかけたりアドバイスしたりするなど、嫌な思いをする人が少なく、楽しく取り組んでほしいなと思っています。



#### 校長の話

#### こんな話をしました。

##### ① 敬老会太鼓演奏を終えて

9月12日(火)の敬老会で太鼓の演奏を披露しました。その後、何人もの地域の方から、とてもよかったとお褒めの言葉をいただきました。たいへんうれしかったです。日間賀島の皆さんに元気を届けたいという気持ちと一生懸命な姿が、地域の方々に伝わったのだと思います。

また、演奏の途中や演奏を終えたときに、大きな拍手をいただきました。「がんばってよかった」と思ったのではないのでしょうか。演奏後の満足げな顔と笑顔が印象的でした。「島の元気は、日中から」といって太鼓に取り組みました。しかし、実際には、君たちも元気をもらったのだと思います。君たちががんばることで島に元気を届け、そして、君たち自身も元気をもらっているのだと思います。

来週は、島民体育祭が行われます。敬老会以上の演奏をして、日間賀島を、そして、自分自身を元気にしましょう。

##### ② あいさつについて

先々週、先週と、週目標が「先大見笑を意識しよう」でした。意識して、明るく元気なあいさつができるようになってきたと思います。うれしいことです。生徒会役員や総務委員、そして、実践してくれている人たち、ありがとう。

ただ、それが、一部の人、一部の場所(例えば、学校)だけに限られてしまうのはもったいないですね。日中生すべてが、どこでも、「先大見笑」を意識したあいさつをしてほしいと思います。私は、それが、君たちも、この日間賀島も、幸せになる方法の一つだと思っています。

